

「日本人がいらない」 「最初はいっておきませんが、日の丸に抗議のある人は退席していただきたい」と結構ですか

先月七日、東京・新国ホテルで開かれた国際協力をめぐる実態をめぐって、日本の存在感をもっと高めよう、民間のボランティア組織が欧米先進国に比べて大きく立派になってきたのが、その要因でもある。だが、日本の民間組織もまっとうな本格的な動きが出始めている。

オーキッド・プラン

界中から救済チームやNGOが駆けつけたが、緊急支援体制がとれていない。日本は初動で出遅れ、「日本がいらない」といふ国から非難を浴びた。これを受けて、八二年(昭和五十七年)に発足したのが国際協力事業団(JICA)の国際緊急医療チーム(JMTR)だ。



沈黙の大国

▶170



昭和21年、広島生まれ。岡山大学医学部大学院卒。保健所、民間病院を経て56年に内科医としてアジヤの医師ネットワークづくりを始め、59年にNGOのアジヤ医師連絡協議会(AMD)を結成。自らもインドやネパールなどで医療ボランティア活動を続けている。

菅波茂氏

アジア医師連絡協議会代表 菅波茂

医療救援は国の良心をあらわす

「沈黙の大国」が単行本となります。前平をまとめた10月8日、扶桑社から出版されます。484頁、定価600円。紙面では12月中旬まで掲載予定です。後半分は連載終了後、出版予定です。

緊急救援隊には、人間としての国々の持つ、愛を持って行きたい。このとき、日本が救援で手から、特に欧州に対し、もたらされた。途上国は発が一年間並で給与補てんをもらっている。途上国は発が一年間並で給与補てんをもらっている。途上国は発が一年間並で給与補てんをもらっている。

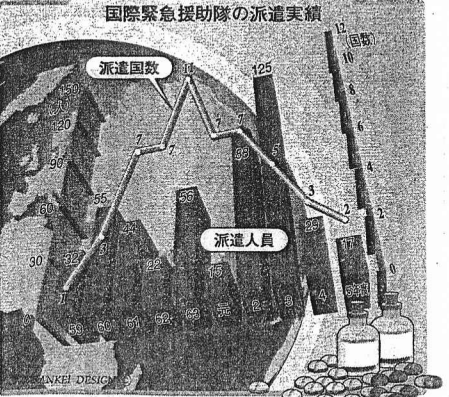
遊依頼が来なかったため出動できないという「要請主義」の弱点も露呈した。世界の緊急活動を見るに、「国際十字」環境なき医師団「アタ・インターナショナル」などNGOが主体で、日本式の政府主導型では対応できない。この「要請」が、日本にはないと思

200人提言

日本には、海外へ出ていける医師が多い。日本は海外からでも求めている。日本は海外からでも求めている。日本は海外からでも求めている。日本は海外からでも求めている。

NGOが連携へ 欧米並み救援体制目指す

「政府がいらない」といふ、日本は「要請主義」の弱点も露呈した。世界の緊急活動を見るに、「国際十字」環境なき医師団「アタ・インターナショナル」などNGOが主体で、日本式の政府主導型では対応できない。この「要請」が、日本にはないと思



「沈黙の大国」取材班 火曜日から土曜日まで掲載